



WAKWAK

発行

代表理事 岡本 茂
〒569 高槻市富田町2丁目 13-8
-0814 ハイツ白菊1F
TEL/FAX 072-693-9005
E-mail:jinken@ba.wakwak.com
URL:http://wak2.jimdo.com

すべての人に居場所と出番がある社会をめざして —2016年度社員(正会員)総会を開催しました!—

3月24日に一般社団法人タウンスペース WAKWAK 理事会と社員(正会員)総会を開催し、新年度事業計画・予算案等をそれぞれ承認決議しました。

5年目を迎え、「出会い・つながり・元気を
創造する地域福祉」へ新たな事業も実施



社員総会は理事5名・監事1名、社員6名の12名で構成され、議長・議事録署名人の選出の後、岡本茂代表理事からあいさつ。

ひとりぐらし高齢者、障がい児者、子育て家庭や若者への支援、福祉と人権を基調とした市民活動の促進を引き続き図っていくとした新年度事業計画、予算案をそれぞれ承認決議しました。

地域の福祉課題やニーズを基軸に
若いスタッフの人材育成も

事業計画では、新たに児童養護施設の子どもたちを対象としたプログラムやボランティアスタッフ研修の実施、地域の福祉課題やニーズの掘り起こしを中心としたコミュニティソーシャルワーク事業も実施していくことが確認されました。

障がいのあるないを超えてアートでつながる
「ボードレスアート展」開催



昨年12月6日(日)・7日(月)の2日間、富田ふれあい文化センターでボードレスアート展「わんだーぼくす受講生作品展」を開催いたしました。

フェスタヒューマンライツと同時開催された作品展には164名の方にご入場いただき、濱田剛史市長はじめ多くの来賓の方々から励ましのお言葉もいただきました。ありがとうございました。

ボードレスアート教室
「わんだーぼくす」前期受講生も募集中

ボードレスアート教室「わんだーぼくす」は月2回土曜日午前中に市立富田青少年交流センターを会場に実施しています。



新年度も5月14日(土)から前期が開講。対象は小学生以上で受講料は月額三〇〇〇円材料費・保険代含むです。ご興味や関心のある方は是非お問い合わせください。

「どうする子どもの貧困」シンポジウムを開催しました

1月30日(土)午後1時半から、高槻市市民総合交流センター(クロスパル)でシンポジウムを開催、88名の市民の方にご参加いただきました。主催は高槻市市民公益活動サポートセンター、学習支援教室わんぴーす受講の中学生もパネリストとして意見発表を行ったほか、高槻市からも子どもの貧困の状況について報告いただきました。

基調講演「子どもたちとつくる貧困とひとりぼっちのないまち」

—NPO 法人山科醍醐こどものひろば理事長・村井琢哉さん—



子どもが低所得や生活困窮の結果困った状態になりやすい社会問題です。

困りごとや息苦しさをかかえていても支えてくれる人がいれば頑張れます。貧困そのものはすぐに解決できなくても、貧しくても困らないようにすることが地域の大きな役割です。

今の子どもたちの未来をつくるのは私たちの責任です。まずはまなざしを変え、課題に気づいた人が行動し、社会に広げていくことがスタートです。

パネルディスカッション「貧困の連鎖をなくしていくために私たちができること」

渡剛さん (NPO 法人あっとすくーる理事長)



NPO 法人あっとすくーるは2010年3月に私が大学3回生の時に立ち上げた団体です。学習塾が箕面と高槻にあり母子福祉会と連携してひとり親家庭の子どもたちへの学習会支援を行っています。

生活困窮者自立支援制度が施行されて学習支援が位置付けられていますが、箕面市では教育委員会が所管しているのが特徴です。

学校とも連携しながら子どもたちのところに向いてのサポートも行っています。

学習支援教室わんぴーす受講生

—私にとってわんぴーすとは—

父と母のけんかが多くなって母親が5月からいなくなりました。弟妹が3人いて家の買い物や食事の準備、妹を風呂に行かせたりで勉強できる環境ではありませんでした。

私にとって「わんぴーす」は、つらいことがあっても勉強の合間に相談にのってくれる安心して過ごせる場所です。

自分が高校へ行って、下の弟妹を自分が支えていきたい、みんなが高校へ行けるようにしたいのが私の夢です。



誰もが前向きに人生を歩める社会に

渡さん：私も未婚の母子家庭で育ってきたので共感しました。自分の人生なのに本当にやりたいことが言い出せなかったり、相談する人もいなかった。目の前の現実が厳しすぎて、助けを求める意欲さえ失くしてしまいます。

わんぴーす受講生：私には「わんぴーす」がありましたが、もっとこういう場を作ってほしい。経済的に塾に行けないとか親のせいで子どもが勉強できない環境で荒れて行ってほしくない。虐待の痛みを知らない人達にもその苦しみを知ってほしい。4月からは後輩のために「わんぴーす」を手伝っていきたくと思っています。



村井さん：二人の話に全てが込められています。
しんどい子どもたちが自分の言葉で語れる安心
できる空間が必要です。

一方で、思いを語らないと伝わらない世の中
ってどうなんだろう。二人の思いを超えること
はできませんが、二人の思いを感じ取りやれる
ことからしていけたらと思います。

(パネルディスカッションのコーディネーターは
WAKWAK 代表理事岡本茂が務めました)

参加者からの感想

- 大人が変わらなければいけない。生きづらい社会
の中で子どもたちが明るい未来を生き抜いてい
けるようにまず自分から、自分の場所でやってい
きたい。
- 堂々と伝えている中学生の姿に元気をもらいま
した。
- 学校だけでは到底できないことを「わんぴーす」
をはじめ関係諸機関との連携で子どもたちを見
ていただいていることが本当にありがたい。

生活困窮家庭の子どもたちをはじめ様々な 課題をもつ子どもたちへの学習支援事業 今年も毎週夜2回 学習支援教室「わんぴーす」を開講

生活困窮や発達障がいなどで学校や家庭で
孤立しがちな子どもたちにとって安心できる
居場所づくりが、学習支援教室「わんぴーす」
の目的です。

大阪コミュニティ財団の助成事業にも採択

今年度も4月から15名の中学生が受講、
教職経験者と大学生計14名がシフトを組み
学習支援にあたっています。

今年度は公益財団法人大阪コミュニティ財
団・山口淑子友愛基金事業にも採択され、高
槻市・市教育委員会の後援もいただいて事業
を実施します。



これからの主催イベント予定 富田ものがたり2016

〜わたしものがたりと出会う〜

第一回 (4月26日・火)

「富田地域概要〜新たなものに

チャレンジする先見の文化」

WAKWAK 副代表理事・岡井寿美代



第二回 (5月10日・火)

「教育領域〜つながりとぬくもりで子どもを育む」

富田青少年交流センター・菅原憲一

富田赤大路地域人権教育推進委員会・茨木

照世委員長／吉田仁志事務局長

第三回 (5月17日・火)

「福祉領域〜おまかせ・おし寄せからの卒業」

社福つながりサニースポット施設長・今井司

WAKWAK 代表理事・岡本茂

*いずれも会場は富田ふれあい文化センターで午後6
時半〜8時半。一回のみの参加も歓迎(資料代各回
五〇〇円が必要です)

おはなカフェ

地域で子育て・高齢者・障がい児者支援や多文化共生
等に関わってきた女性を中心に、身近な課題をグ
ストを招いて気軽に話し合える企画。

VOL12. 6月26日(日)午後1時半〜3時半／富

田青少年交流センター(予定)

「子どもたちの安心・安全のために その1」

VOL13. 7月15日(金)午前10時〜12時／サ

ニースポット喫茶クローバー(予定)

「子どもたちの安心・安全のために その2」

2016年度事業画

1. 地域福祉ランドデザインづくり事業を促進します



☺「富田富寿栄住宅建替基本構想」(2014年3月)を受け、自治会組織と連携しながら「富田まち・くらしづくりネットワーク」の活性化・再構築と取り組みのみえる化を促進していきます。

2. 「すべての人に居場所と出番」がある社会をめざします

ボードレスアート事業

☺ボードレスアート教室「わんだーぼくす」を引き続き毎月土の2回開催します。

コミュニティスペース事業

☺「おはなカフェ」事業の充実と子育て中のママさんと子どもたちへの支援の場を提供します。

3. 地域支え合い(ひとりぐらし高齢者・障がい者・若者支援)事業を推進します

地域支え合い・コミュニティソーシャルワーク事業

☺小学校区を単位に地域の福祉課題やニーズの掘り起こしと課題解決に向けた仕組みづくりに取り組みます。



ライフサポート・障がい者グループホーム整備事業

☺親亡き後の障がい児者の生活支援のため、社福つながり・つながり後援会家族会ひだまりと協働で、富田地域での夜間支援対応型グループホームの2017年4月開設をめざします。

4. 青少年子育て支援(こどものあゆみバックアップ)事業

子どもたちへの学習支援事業

☺生活困窮家庭をはじめ様々な課題をもつ子どもたちへの学習支援事業と親支援を引き続き推進し、子ども食堂立ち上げの準備も行います。

社会的養護で暮らす子どもたちのエンパワメント事業

☺児童養護施設の子どものたちを対象にした自然体験活動やボランティアスタッフ研修を実施します。



5. 人材(コミュニティボランティア)育成事業と情報発信

☺連続講座「富田ものがたり」開催をはじめ、近隣大学と連携しながらまちづくりへの様々な活動へ学生の参加を促進していきます。

☺フェースブック、スタッフブログの新たな開設と講師派遣、フィールドワーク受け入れ等のメニュー化を行うと共に情報発信を強化します。

会員継続と会費のお願い

賛助会員として広く活動を支援して下さい。正会員は社員として議決権を有します。

| | | | | |
|------|------|-----|------|-----|
| 正会員 | (団体) | 1万円 | (個人) | 5千円 |
| 賛助会員 | (団体) | 1万円 | (個人) | 1千円 |

いずれも年額(1口)です。入会手続き(継続含む)と会費納入は同封の振替用紙をご利用ください。学習支援や社会的養護で暮らす子ども達への支援カンパも受け付けています。